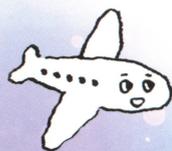


笑おう！
生きよう！



エンディングテーマ

ウルフルズ

『笑えればV』



住み慣れた我が家で がんの痛みを抑え 家族と笑って過ごしたい
萬田緑平医師と5つの家族が教えてくれた〈在宅緩和ケア〉という選択肢
希望あふれるハートフル・ドキュメンタリー

ハッピー★エンド

Happy End

出演：萬田緑平（在宅緩和ケア医） 樹木希林

ナレーション：佐藤浩市 室井滋

監督：オオタヴィン

『いただきます』『夢みる小学校』



痛みのない日常生活を続けられる「在宅緩和ケアという選択肢」は、 病院の面会が禁止されたコロナ禍を経て、 さらに大きな注目を集めています。

在宅緩和ケア医師の萬田緑平先生の診療所は、いつも笑い声が絶えません。

ジョークが好きな萬田先生の信条は、患者さん本人の気持ちを最優先する「患者ファースト」。

末期がんで余命宣告された患者さんたちは、住み慣れた我が家で「生き抜く」ことを選択します。

家族旅行を楽しんだり、愛するペットとともに暮らす。趣味のガーデニング、ゴルフ、お酒を満喫する。その笑顔に包まれた穏やかな日々は、病院での入院生活とはまったく異なる時間が流れています。本作で描かれるのは、最期まで自分らしく生きる、その輝き。感謝の言葉を贈りあうことで、前向きに歩きはじめる家族の姿です。

全身がんを抱えながら2018年に亡くなった樹木希林さんの言葉の数々が、明るく生き続ける極意を教えてくださいます。

在宅緩和ケア医療に密着したのは、今なお上映が続く『夢みる小学校』のオオタヴィン監督。ナレーションは、佐藤浩市さんと室井滋さんのスペシャルなコラボレーションが実現。エンディングテーマは、ウルフルズの名曲「笑えればV」。

がんに悩む現代人に伝えたい、“緩和ケアという希望”を描いたドキュメンタリー。

あなたの人生をハッピーエンドにするためのヒントがここにあります。



「在宅緩和ケア」で、
身体と心の苦痛をやわらげ、
自宅自分らしい生活を送る
がん患者のみなさん

愛するペットと
一緒にいたい!

孫や子どもと
毎日過ごしたい!

ゴルフやお酒、趣味を
続けたい!



◀公式サイト

佐藤浩市

がんで悩む現代人には
勇気が出る映画です。
ある年齢になったら
観ておいた方が良いと思いますよ。

室井滋

本作は
悲しい映画ではありません。
見ると不思議な
希望が湧いてきます。



製作:まほろはスタジオ 配給:新日本映画社 宣伝:高木真寿美 2025/日本/85分/カラー/16/9/ステレオ/ドキュメンタリー

happyend.movie

4/18(金)より全国順次ロードショー

特別鑑賞券¥1,400(税込)絶賛発売中!

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り
シネスイッチ銀座

03(3561)0707 www.cineswitch.com

吉祥寺PARCO地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422-66-5042 joji.uplink.co.jp/